

## 6月27日（金）の徳島地方気象台出前授業（5年）の様子!

6月27日（金）4時間目、5年生が徳島地方気象台の3名の方を講師としてお招きし、徳島地方気象台出前授業「台風と気象について」の学習を行いました。

5年生は、理科の単元「雲と天気の変化」と「台風と気象情報」を学習しています。4月から5月にかけての「雲と天気の変化」の学習では、「一日の気温の変化と天気の関係」や「雲のようすと天気の変化」、さらに「気象災害（警報・注意報などの気象情報）」等についての学習を行いました。

今回の「台風と気象について」の出前授業では、実際に気象に関する仕事に携わっている徳島地方気象台の方から、「気象庁の仕事」や「台風について」のお話を詳しくして頂きました。5年生の子どもたちは、これまでの理科の学習を思い出しながら真剣にお話を聞いていました。



### <今日の学習のまとめ>

- ・台風は、熱帯低気圧のうち、最大風速がおよそ17m/s以上のもの。
- ・台風は、土砂災害、浸水害など様々な災害を引き起こす。
- ・気象庁ホームページなどから、最新の情報を入手する。
- ・台風が来る前に対策をし、台風が来た後は、できるだけ外出をせずに、危ないところには近寄らない。

6月27日時点で、日本付近で2つの台風が発生しています。これから台風が発生してくるシーズンとなってきます。

5年生の子どもたちには、「どのように台風が発生するのか」や「台風が近づいてきた際にどのように台風への備えをすれば良いのか」、「台風等の自然災害から命を守るためにどのような方法があるのか」等について学んだことを、今後の生活に生かして欲しいと思います。